

(3) 遊歩道（春日原駅～白木原駅間）



①舗装

【方針】 <広場部>

日常的に利用する散歩道として、歩きやすい舗装とします。

【デザインについて】

- 歩行空間を明確に位置づけるため、特に歩行者の動線の中心となる部分については、可能な限り高質な舗装材を用い、歩きたくなる快適な遊歩道空間を創出する。
- 歩いて楽しい空間と、落ち着きのあるたまり空間を演出する。



②ファニチャー（全箇所共通事項）

【方針】

ベンチ等のファニチャーは、空間の広がりを感じられる控えめでシンプルなものを配置します。

【デザインについて】

- 空間の広がりを感じられる控えめでシンプルなデザインとする。
- 素材感が感じられ、利用してみたくなるデザインとする。
- 多様なイベントに対応できるように移動可能なものも検討する。



③安全施設（全箇所共通事項）

【方針】

車止めや柵等の安全施設は、安全性を担保しつつ、控えめでシンプルなものを配置します。

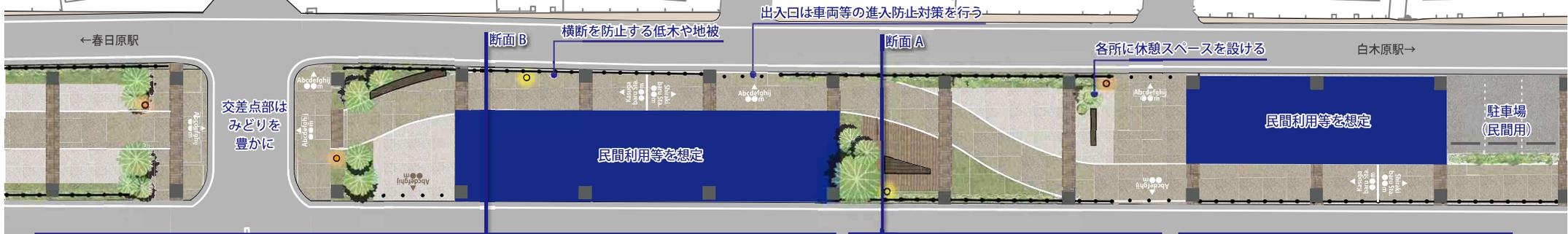
【デザインについて】

- 空間の広がりを感じられるように、控えめでシンプルなデザインとする。
- 透過性が高く、景観を阻害しにくいデザインとする。



【凡例】

- 舗装
- 舗装
- ベンチ
- 案内サイン
- 誘導サイン（橋脚）
- 歩道照明（高位置）
- 横断抑止柵
- 車止め
- 植栽樹
- 中木
- 低木



④植栽

【方針】

住宅街の憩いの場となり、歩く楽しみを創出します。

【デザインについて】

A. 歩行者のたまり空間を演出するみどり

- 交差点やたまり空間に樹木を配置し、人々の抛り所となる空間を演出する。
- 一年を通じてみどりのうらおいを感じることができるよう、常緑樹を基本とする。

B. 季節感を演出するみどり

- 季節感を演出するみどりを配置し、歩く楽しさを演出する。

C. 横断を防止するみどり

- 横断を防止するための低木や地被を配置する。

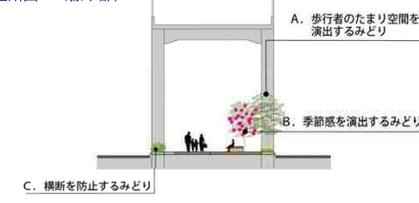
D. 店舗前を彩るみどり

- 花壇等のみどりを配置し、店舗前を彩る。

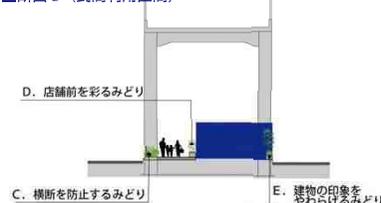
E. 建物の印象をやわらげるみどり

- 中木や低木等のみどりを配置し、建物の印象をやわらげる。

■断面 A（標準部）



■断面 B（民間利用区間）



⑤サイン（全箇所共通事項）

【方針】

目立ちすぎずシンプルで効果的な案内や誘導を促すものを配置します。

【デザインについて】

- サインは地面や高架構造物の柱、店舗の壁等を積極的に活用して、支柱の省略化や集約化を行う。
- 効果的に案内や誘導を促すために、統一かつシンプルなもの基本とする。
- 独立して設置する場合は、周辺環境に調和し、装飾的ではないシンプルなデザインとする。



⑥照明

【方針】

歩行者の安全性に配慮した照度を確保し、住宅街や高架下周辺の景観に調和する照明を配置します。

【デザインについて】

- 住宅街であるため、歩行者の安全性を確保した最小限の照度を確保する。
- 住宅街に調和するように、色温度は温かみのある電球色・暖色系とする（3,000K程度）。
- 照明は、高架構造物の柱に取り付けるなど、目立ちにくいように設置方法を検討する。



※図や写真はイメージであり、確定したものではありません。